

**お薬手帳の活用**

薬局長 坂本 京子



～お薬手帳をいつも持ち歩きましょう!!～

**お薬手帳とは？**

自分が服用している薬の名前・用量・日数・服用方法などを記録しておく手帳のことです。また、副作用歴、アレルギーの有無、過去にかかった病気などについても記入できます。

医師や薬剤師は、患者さんがどのような薬をどのくらいの期間使っているのかを確認するために使用します。複数の病院にかかっている患者さんの飲み合わせの管理にも用いることができます。

**お薬手帳があれば**

- ◎病院・診療所・歯科医院・保険薬局に持参し記入してもらい、また確認してもらえば、薬の飲み合わせや副作用を防ぐことができます。
- ◎入院時に持参すれば、入院中の薬の最適な選択のために、今まで使用していた薬を参照してもらうことができます。
- ◎旅行先で病気になった時や災害時に避難した時、急に具合が悪くなって救急外来にかかった時、服用している薬について正確に伝えることができます。

**お薬手帳の内容**

- ◎処方内容：患者氏名、医療機関名、調剤日、薬剤名、用量、用法、日数、保険薬局名
- ◎副作用歴
- ◎アレルギー歴
- ◎主な既往歴

**お薬手帳を使用する際の注意点**

- ◎お薬手帳は、一冊にまとめましょう。飲んでいくすべての薬を「一冊で」記録することが大切です。病院ごと薬局ごとに、別々のお薬手帳を作らないようにしましょう。
- ◎病院や診療所、保険薬局へ行くときは、毎回忘れずに持って行きましょう。
- ◎一般用医薬品（OTC医薬品、大衆薬）・健康食品も記録しましょう。  
思いがけない、よくない飲み合わせが見つかることがあります。